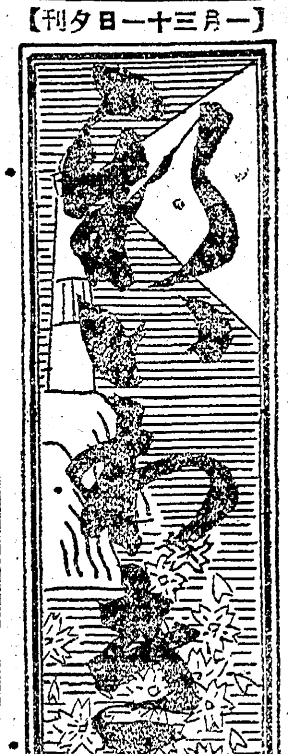
【一月三十一日夕刊】



休日 日曜大祭日
一ヶ月 廿五錢
一部 二錢
廣告料 一行四〇錢 場所指定 廿錢增
發行兼編輯人 印刷人 牛谷政吉
發行所 福島縣平南町廿 新いはき新聞社

家畜保險組合と地方
設置すれば斯した得
此所から足を踏み出して
軈て各保險も組合で可能

石城郡畜産組合間に家畜保險組合設置の要を漸く高唱されて來たことは曾報の如く最近これを産馬組合に諮問されるまでの熱を見せるに至つたが尙ほ未だ

其趣旨 が一般に徹底しない關係と現今に於ける農村の經濟直前苦とによる躊躇を免かれず町村長會に此の後援を請けて此際如何にしても實現させたいものと

識者間 に熱心なる奔走を續けられてゐる家畜保險組合は農村に經濟的不安があればある程急速に畜保組合の創設を要するもので郡内の現在飼馬頭數約七千は少なくも

百萬圓 の財産でこの傷病死を完全に救濟される機關の設立を希望されぬ筈でなく畜産界が先鞭をつけた同保險は單に傷害疾病にのみ活用されるばかりでない馬匹の

購入資 金調達にも便宜を與へられるので同業の相互扶助による効果は農家の經濟を安定され畜産金融の開發並に家畜の改良及び家畜衛生の

改善等 他日必ず見るべきものあるを豫期されてゐる而して一般部民の理解による同保險の活用は軈て農家生産物の豊凶並に漁船保險等の實現をも期し得べく更にまた之れ等の

保險に して組合組織に良くし得る場合は數ケ組合の一部的又は全部的の合同協約或は縣下を打つて一丸とする團結によつて生命保險及び火災保險の如きも必ずしも不可能のものではなく

本紙が 曾て報導した如く地方のみに於て毎年中央に吸收される生命保險料の二十一萬圓餘並に火災保險料四萬五千圓を合する二十五萬圓の

流出等 を地方に食ひ止め或程度まで地方は地方としての經濟確立をなし得る將來の遠からざるを思ふ時に其の前提としての家畜保險組合の如き地方民は

創設に 當り多少の困難を排しても喜び迎ふべきものでないかと某有志は語つてゐる

久の濱防波堤の 工事指令
四千八百餘圓で 三月竣工の豫定

双葉郡久の濱町では同町蔭磯の避難港が防波堤延長の不足から有事の所要に充分でなく修築工事認可を申請中であつたが去三十日縣の指令を得たので近く着工の筈であるが同工事は防波堤八間の延長をなすもので工費四千八百四十一圓に査定され來る三月三十一日限りの竣工豫定になつてゐる

失業救濟工事 愈よ着手
上小川村の平町小野新町線

石城郡上小川村の上小川字高崎地内に於ける縣道平町小野新町線のカーブを緩和する延長二百十八米の改良工事は同地失業者救濟の目的で勞力費二千四百圓を部落請負に任され去三十日帳張の爲め平土木監督所から渡邊技手出張したが同所管内に於ける同樣の救濟工事である双葉郡廣野村折木線及び石城郡鹿島村並に同郡良泊荷路夫線の縣道改良工事も本年度内に竣工の豫定で何れも近く着工の筈であると

鹿島校長の 講習出席

石城郡鹿島村尋高小學校長鵜津盛天氏は明二月一日から向ふ一ヶ月間福島市に於て開催される高等科正教員講習會に出席した

豊間青年の 義士會
明師走の十四日小學校にて

石城郡豊間村の青年團では明二月一日が元祿の快擧四十七士の打入れしたる舊師走十四日に當るので午後六時から同村小學校に會し義士會を催して劍道の稽古をなし最後に紅白試合を行ひ同十一時解散の豫定であると

福島炭礦の 健保講演
明二日同礦 福島座にて

石城郡赤井村の福島炭礦では明二月一日午後五時から同礦劇場に於て縣から出張の保健課員から健保に關して磯江章三氏並に同礦醫局主任賀川淺太郎氏の講演があると

石城郡農會の 新豫算
千六百圓を減少 及各町村分賦額

石城郡農會では既報の如く今卅一日午前十時から平町同會事務所樓上に於て新豫算に關する總會を開いた昭和六年度の同總額は一萬七百二十七圓で總てを緊縮方針に則つた結果千六百十九圓を減少した各町村の公賦額は左記の如くで午後一時閉會後農會議員は今回顔合せで滿期となる爲め事務所前に於て一同記念撮影をなし同町谷口樓に新年宴會を催した

▲分賦額泉二九六圓、渡邊二一一圓植田二七六圓山田二七七圓、錦三一八圓、勿來二八八圓、上遠野二三六圓、入遠野一八〇圓、川部一九七圓、田人組合一三六圓、平一四八圓、飯野三二〇圓、夏井二六一圓、高久二一一圓、豊間一三四圓、江名一四八圓、鹿島二三八圓小名濱一一三圓、玉川三二〇圓、磐崎三三五圓、湯本一三一圓、内郷二〇八圓、好間二四〇圓、赤井二四八圓、永戸組合一七八圓、三坂組合一八六圓、神谷二五四圓、草野三六三圓、大浦二七〇圓四倉一一〇圓、大野二八五圓、平窪二八二圓下小川組合二三五圓、川前一〇七圓計七七三〇圓

小作者を 表彰する
來月四日神谷村の地主會で

石城郡神谷村では平穀物檢査支所の指導奬勵で本收穫年度から産米檢査の實行と共に地主組合を組織され小作米の受檢千三百二十二俵に達したが同地主會では村内二百餘名の小作者中から檢査結果の優良者を表彰することに決し三十日木名瀬穀檢支所長同地に出張嚴選を行ひ左記擬賞者を決したので來る二月四日同村本縣農試分場に於て左記六十五名に會長志賀亥之松氏から賞品を授與される筈であるが入賞せざる一般に對しても些少の心付をなすもの如くである

▲一等賞二、二等賞七、三等賞一四、四等賞四二(以上賞品額約五十圓)

貧困救濟の 協議會
平町同潤會で來る二日

平町同潤會では舊年末に於て窮貧者に對する惠與方法を講究中であるが來る二月二日(舊十五日)午後七時から同町役場に評議員會を開き適當な救濟をなすべく協議を遂ぐることになつた

學校教員の 修養會
產業組合法に就て三森氏の講演

平町に於ける第一、二、三小學校及び商業學校職員によつて組織される修養會では三十日午後三時から第二小學校に於て第百六十三回の月例會を開き本會には平町信用組合理事三森虎雄氏から産業組合法に就ての講話あり午後五時散會した

石城販賣利用の 組合總會
來る二月九日マルトモ館で

石城郡販賣利用組合では來二月九日午前十時から平町四丁目マルトモ書店樓上に於て第六回總代會を開催する協議事項は左記の如く缺員の理事一名(大野村吉田保之助氏不承諾による)補缺選擧も行はれる筈

▲五年度財産目錄貸借對照表事業報告、剩餘金處分(六分配當の見込)六年度に於ける借入最高額儲裕金預先決定、準備金及特別積立金を事業資金に運用、本縣信用組合聯合會出資五口增口の諸件

五百五十圓を 遺失する
青くなつて屆け出でる

東京府下南葛飾郡渡邊勝美は去廿九日石城郡磐崎村地内を通行中現金五百五十圓を遺失し青くなつて平署に屆出た

俳句

節分 (二)
滿莊壽主人

[illegible]儺になやらふ聲のきこゆなりいづこに鬼のたちかくるらん

と云ふ歌もありて追儺の式は一般に行はれる式である

節分をともし立てたり獨り住　召波

常には居るか居ないか判らぬ程灯もつけず放縱な生活をして居る男も今宵は節分まご／＼して居ると鬼が飛び込む恐しさと福の神の來訪を待つ慾心からいくつもいくつも灯火を立てつらねて家中を明るくして居る滑稽なものじや

先生も人のすゝめや厄落し　召波

(紀事)に曰く四十二歲の男自ら犢鼻褌(ふんどし)を落す是をふぐりおとしと云ふ厄を拂ふの義なり今宵乞人(こつじき)もめんを以て頭を覆ひ自ら厄拂疫落しと稱し終夜ちまたを往來す云々とあり此先生常に其謂れなきを笑ひ居たりけんも自分が四十二歲の厄年に當りては人のすゝめに何となくこゝろ動きて街の四辻に立ちて(ふんどし)を落して來た其先生の眞面目な顔と其ナンセンスの行爲とを想像して御らんなさい俳句はこう云ふ面白い境地を捉得る德である

地方自治の意義（七）

Y R 生

從つて役場とか役所とか云ふ恰も役人が仕事をしてゐる場所であると云ふ考へ方も起つて來て自分達の仕事を自分達ですると云ふ自治の觀念が充分に發達しないのではあるまいか、

國家、府縣は市町村の行ふ委任事務に對しては交付金、補助金を與へて費用の一部を補助し奬勵して居るがそれはほんの一部分に過ぎぬ、

例、義務教育費國庫補助金、青年訓練所、國庫補助金の如し、

市町村に於ては徒らに補助金に依頼することなく相協力して財政を豐かにし又市町村民自覺して眞の市町村自身の公共事務である固有事務を擴張しその發達を圖り市町村共同の福利增進に努めねばならぬ

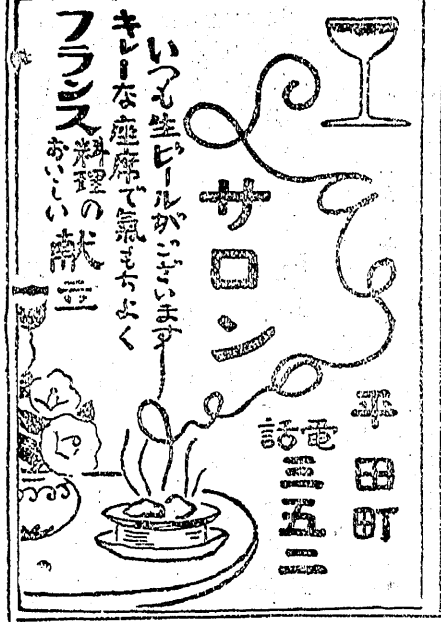
明治維新後は一切の古きものを破壞する運動が地方行政の上にも襲ひ來つて從來の村の區域や名稱も一擲された蓋し封建制度を破壞して中央集權を實現する一時の過程として不已得現象であつた、

然し前にも述べた樣に眞の鞏固な國家は地方民力の涵養充實にあり而して之れが方法は地方自治の基礎を鞏固にすることである

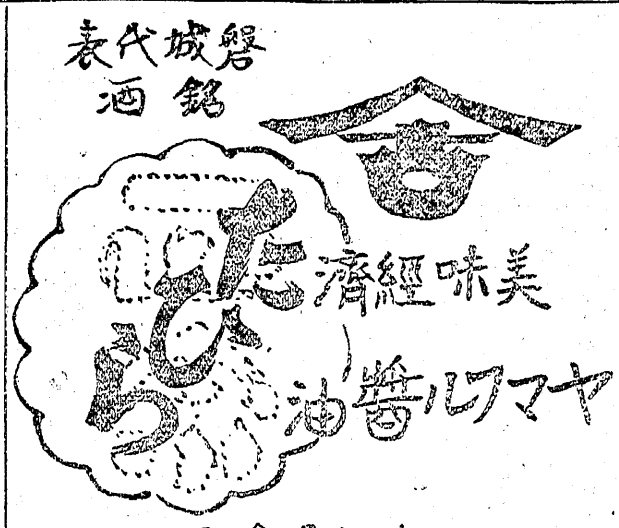
大久保、木戸兩公の如きは夙に茲に着眼された、明治十六年山縣公內務大臣に就任されて以來、氏の考へに依れば帝國憲法を制定し帝國議會を開設する以前に立憲政治確立の基本として町村自治の制度樹立の要ありとせられ獨逸人モッセ氏を聘し調査研究草案を起草せしめられその結果明治二十一年市制及び町村制が發布せられた

御料理
尼忠
面白く
お安く
平新田町
電話八六五番

驚異的の効果を
有する婦人藥
座藥 美神丸
內服藥 美神湯
婦人病に惱む人々に一度は實驗を勸む
平町代理店 平町五丁目角
山野邊藥局



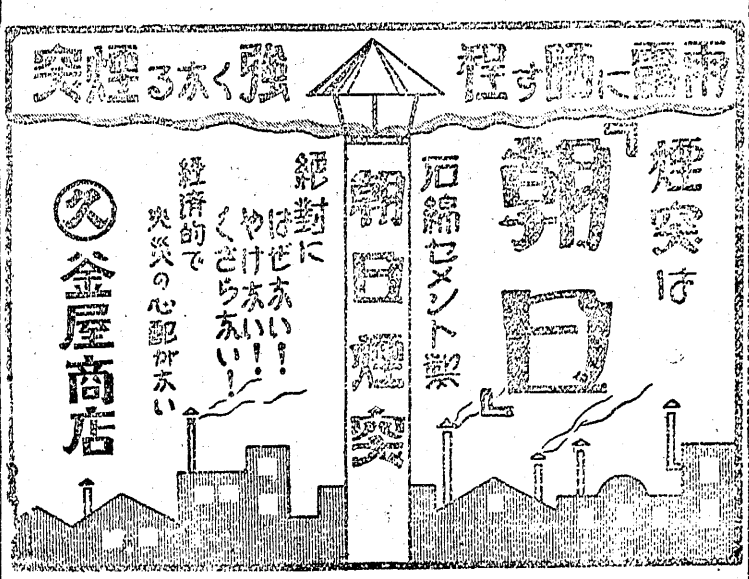
入湯時の快感を
「カクニ石鹸」
品質純良
價格低廉
心地よい泡立
優雅な香
壹ケ
金拾錢
平町四丁目
電話一四〇
ツルヤ



召上りませ
安くて……
うまくて……
品がよい……
カフエー タヒラ食堂
電話六二〇番

ライト
寫眞館
平町搦搪小路
電話五三五番

痔療散
ヂに惱める方へ
最近の發見藥を勸む
世に擧げて、スピート化し然かも見よき皮肉の存在餘りに過々たる疾病の劇烈、殊に本痔疾劃期的進出せる痔療散其の卓効全速的快癒に就ては恰も奇蹟の如く新に惱める者への福音、遂はず一遍に試みられよ其の事實を
一度の試驗は百圓より無辯に證明されん
新進にして一躍痔疾專門學校教授
明治醫學專門學校教授
田中豐彥先生創製の「痔療散」
定價 三日分 九拾錢 一週間分 貳圓 二週間分 參圓入拾錢
私達の恩師母校の教授田中先生多年苦心せる研究學痔療散の代理店を開始す切に御試驗を乞ふ
平町五丁目角
平町代理店 山野邊藥局
藥劑師 山野邊東次郎



警察救護
看護婦募集
警察共濟病院案內
入院料 一般 金壹圓也
一日 本會員金壹圓五十錢
往診料 （院長及其他の博士に限り、一般金三圓也 平町本會員金二圓也）
尙地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候也
各科專門醫擔當
內科 小兒科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 內臟外科
產婦人科 女子泌尿科
耳鼻咽喉科
×光線科（物理學的診療科）
院長 醫學博士 難波睦
本院主管 賀澤忠治
衛生試驗所 病氣相談所 救療所
本病院內
救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい
警察共濟會（警察平町電話六四一番）

外科、小兒科　平町、電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科　高久病院
レントゲン科　院長 醫學士 高久忠